

# 未来へ続く歴史街道 ～設立30周年を迎えて～

日本の歴史を時代の流れに沿ってたどりながら、歴史文化の魅力を楽しく体感することができるルート「歴史街道」。

今号では、今年設立30周年を迎えた「歴史街道推進協議会」(会長：松本正義 関経連会長)のこれまでの歩みを振り返るとともに、2021年度から3年間の事業の方向性を示す「第10期中期計画」や、設立30周年記念フォーラム「未来へ続く歴史街道」について紹介する。

## 歴史街道推進協議会について

関西は、国宝の約6割、重要文化財の約5割が集積する歴史文化の宝庫である。これら関西の豊かな歴史文化資源の活用および日本文化の発信と継承を目的に、1983年に学者・文化人により発足した「世界を考える京都座会」(座長：松下幸之助氏)は、日本の歴史文化をその場で体感できる“歴史を楽しむルート”としての「『歴史街道』づくりの提言」を1988年に発表した。

これをきっかけとして、学者・文化人や経済人計29名による「『歴史街道』構想推進呼びかけ人会」が発足。そして1991年には、当会をはじめとする関西の経済界や国、自治体、企業などが連携し、歴史街道構想の実現に取り組むべく「歴史街道推進協議会(以下、協議会)」が設立され、初代会長には宇野収関経連会長が就任した。現在は、官民あわせて172の団体が協議会会員として取り組みを支援している。

## 歴史街道推進協議会のこれまでの取り組み

協議会では、5つの時代別ゾーンを結ぶメインルート(伊勢～飛鳥～奈良～京都～大阪～神戸)と、地域の特徴を生かした3つのネットワークを設定している(図)。

図 歴史街道ルートマップ



協議会は、これらのルートやネットワークを舞台として「日本文化の発信」「歴史文化を活かした余暇づくり」「歴史文化を活かした地域づくり」の3つを目標とする「歴史街道マスタープラン」を1992年に発表。これを指針として、1994年の第1期中期計画以来約3年ごとに中期計画を策定しており、計画に基づき以下のようなさまざまな事業を展開している。

### ■日本文化体感プログラム

座学だけでなく、実際の歴史文化を現地で体験し、日本文化や日本人の精神性(こころ)の素晴らしさを知ること、国際社会を舞台に活躍できる人材の育成を目的とした「日本文化体感プログラム」を実施している。本プログラムは2010年に開始され、海外からの研修生や留学生のほか企業人、大学生など、これまでのべ1万人以上の参加を得ている。

### ■歴史街道倶楽部

歴史街道を応援するファンクラブともいえる「歴史街道倶楽部」(1994年開始)には、現在約1,800人が個人会員として登録しており、歴史の舞台を旅するイベント「歴史のまちウォーク」への参加や、年4回発行の会員誌「歴史の旅人」の購読等を通して関西の歴史文化に親しんでいる。さらなる会員増強に向け、設立30周年記念キャンペーンとして入会特別優待を実施中である(P.8参照)。

### ■広報活動

歴史街道の知名度向上、理念訴求ならびに歴史街道ブランドの価値向上をはかるとともに、歴史街道の各地の魅力を発信するために広報にも力を入れている。1996年から設置をはじめた「iセンター」(観光案内所や道の駅などに併設されている歴史街道の案内所)での情報発信のほか、関西5私鉄の沿線情報誌、会員企業の媒体等を通じたイベント告知などを実施している。また、公式YouTubeチャンネル\*1を開設し、実際の旅のコースを紹介するなど、若年層に向けたPRも展開している。

## ■他団体との協働事業

2014年から関西広域連合と共催で、文化遺産を通じて地域の伝統文化を学ぶ機会を提供する「歴史文化遺産フォーラム」を開催している。2022年度に予定されている文化庁の京都移転に向けた機運醸成のため、2017年からは先行移転している文化庁地域文化創生本部も同フォーラムの共催者として加わっている。さらに、関西観光本部との協働事業として、2017年から通訳ガイド向けWEBセミナーの共催等にも取り組んでいる。



2020年度「歴史文化遺産フォーラム」

## 日本文化の魅力を発信するために

協議会は、前述の「日本文化体感プログラム」のさらなる充実・拡大に加え、メインルートの6拠点（伊勢・飛鳥・奈良・京都・大阪・神戸）および3つのネットワークでの新たな事業の取り組みを計画している。

初年度となる今年度が協議会設立30年の大きな節目の年に当たる第10期中期計画では、コロナ禍による新たな常態（ニューノーマル）のなか協議会の活動のあり方などを変化・適応させなければならない

として、「次の時代へと続く永続的持続可能な活動へのトランスフォーメーション」を通期テーマに掲げた。そして、この通期テーマを実現するために、①時代に合った広報活動のさらなる拡充、②ターゲット層の拡大（若年層への積極的なアプローチ）、③デジタル化施策の積極的導入、の3点を取り組み方針として定めた。

この取り組み方針をふまえ、ホームページやオンラインによる情報発信を強化しているほか、各種イベントも対策を講じながら開催している。また、30周年記念事業として、Instagram投稿キャンペーン「#歴史街道を楽しもう」\*2の実施や歴史街道に関する絵本風のガイドブックの制作など、若年層へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。



Instagram投稿キャンペーン「#歴史街道を楽しもう」

当会としても引き続き協議会と連携し、観光振興や文化・芸術の発信に資する事業などを支援していく。

- \* 1 歴史街道推進協議会公式YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCiXm9QIWZfQlpxXYtIRGQZw>
- \* 2 Instagram投稿キャンペーン「#歴史街道を楽しもう」  
<https://rekishikaido.gr.jp/campaign-30th/>

（産業部 鶴田真弘）

## 2021年11月1日(月)、大阪市中央公会堂にて 設立30周年記念フォーラム「未来へ続く歴史街道」を開催

- 開会挨拶 松本会長
- 特別講演 「文化が生きる街 文化を生かす街」 講師：彬子女王殿下
- パネルディスカッション 「受け継がれる伝統文化」  
パネラー：華道家元池坊 次期家元 池坊 専好氏  
文筆家、皇學館大學非常勤講師 千種 清美氏  
山本能楽堂事務局長 山本佳誌枝氏  
染司よしおか六代目、染織家 吉岡 更紗氏  
コーディネーター：近畿大学経営学部教授 高橋 一夫氏



### ●特別講演のポイント

人々の生活のなかに伝統文化を取り入れ、生活習慣として溶け込ませることが大切である。子どもたちに「本物の日本文化に触れる機会を提供したい」という思いで心游舎という団体を設立し、活動している。

### ●パネルディスカッションのポイント

「歴史・文化・伝統の継承が重要である」という考えのもとそれぞれが取り組んでいる体験会や情報発信について紹介があった。伝統文化の継承において、歴史街道が持つ意義・役割は大きく、今後とも協議会と連携していきたいとの認識が共有された。